

ネイチャー・ウォーク

令和4年3月

2022.3.27 発行

(通巻第338号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■1月のネイチャー・ウォーク

楽しみは 秋葉の森の冬景色

JR川越線指扇駅～東武バス「秋葉入口」バス停

1月16日(日)、風も弱くよく晴れた今年最初のネイチャー・ウォーク。

18名の参加のもと、さいたま市は指扇駅を出発しました。

秋葉神社で初詣と記念撮影。コロナが落ち着き平和な日常となりますように。



今回のコースはさいたま市西区。新しくなった指扇駅の周辺は真新しい住宅や建物が並びますが、10分も歩くと田畑や屋敷林が目につき始めます。今年はカモが少ないねえ。と話しながら、途中の川でも鳥チェック。なかなか見つかりません。



スズメやツグミといった冬の田畑に見られる鳥が中々出ません。今年は少ないのかなあと参加者が口々につぶやいていると、遠目の乾いた水田に座り込む鳥の姿が。双眼鏡で見ればなんとタゲリの群れでした。田んぼの向こうには堤防がみえ、荒川はすぐそこか！ と合点。12羽？ 15羽？ 土かタゲリかわからん！ と大盛り上がりでした。



田畑を抜けて少し坂を下ると、急にヨシ原と斜面林が広がりました。秋葉の森総合公園の整備予定地です。ここでは、協会の大宮支部の原田さんと和田さんが、市と協議を重ね、貴重な湿地と斜面林をできるだけ残すために力を注がれていることについて説明してくださいました。少しずつ市の理解も得られているとのこと。市民団体の地道な交渉や管理作業があってこそ自然が守られていることを改めて実感しました。話しているそばから、タシギやツグミなど、ヨシ原にたくさんの野鳥が顔を見せてくれました。



そこに、「たまたまそこにいたイトミミズおじさん」スタッフ A と遭遇。この日イトミミズは見つからなかったものの、自然の水路で冬眠中のドジョウをつかまえ、みなさんに紹介していました。なんでもこのおじさん、1時間近く前から現場で待ち伏せし、生きものを探しながらみなさんの到着を待っていたそうですヨ。

その後は秋葉神社で初詣を、秋葉の森

総合公園で休憩をとりながら散策し、高い木にとまるノスリやヨシ原に座り込むタシギ、愛想よく参加者の前に現れたジョウビタキやモズ、シジュウカラ、メジロ、コゲラなどを観察し、気持ちよく1月最初のネイチャー・ウォークを終えることができました。



Walk（多く）出現認定証の授与は秋葉公園で行いました。

今回はお一方。いつもありがとうございます。これからも末永くよろしくお願ひします！

今回も半日だけのコースでしたが、みなさまいかがでしたでしょうか。

またお友達をさそってお越しください！